

# 中部大学のCOC (Center of Community) 事業

COC事業は、文部科学省が推進する「地(知)の拠点整備事業」で、地域志向の活動を通して学生の教育・人材育成に取り組む大学を国が支援するものです。中部大学は地元・春日井市と連携し、様々な構想の下、大学の持つ人材や技術、知の資産を活用して地域再生・地域活性化に取り組みます。これらの取り組みを地域の方々や学生とともに実践し、創造・協働・自立の精神を身につけた、あてになる人間、「地域創成メディエーター」を育成しています。その事業のひとつである地域連携住居についてご紹介させていただきます。

## 地域連携住居を知っていますか？

<p><b>地域連携住居とは</b></p> <p><b>1. 新しい入居スタイル</b> 春日井市とUR都市機構と中部大学の3者連携による住居の提供</p> <p><b>2. 学生が成長できちゃう</b> 入居学生間のコミュニティや、地域の方々との交流を持つことで学生が自ら成長できます</p> <p><b>3. 地域貢献ができる</b> 中部大学KNT創成サポーター(通称CU+)として地域イベントに参加したり、運営をお手伝いします</p>	<p><b>メリット</b></p> <p><b>1. 家賃が安い!</b> 通常の20% OFF! 礼金・仲介手数料・更新料が不要!</p> <p><b>2. 部屋が広い!きれいな!</b> 大容量収納スペース 全室リフォーム済み</p> <p><b>3. 地域イベントへの参加</b> 他の入居学生や地域の人と知りあえて不安なく一人暮らしをスタート</p>
--	--

## 体験レポート

2018年4月に県外から春日井市にやってきた女子学生の地域貢献活動への参加体験談です。

<p><b>参加してみたイベント</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高蔵寺NTウォーク</li> <li>・世代間交流防災企画</li> <li>・藤山台盆踊り(準備~片付け)</li> <li>・防災倉庫点検</li> <li>・健康ウォーク</li> <li>・防犯パトロール</li> <li>・クリーン作戦</li> </ul>	<p><b>pick up</b></p> <p>・世代間交流防災企画 誤飲やものをのどに詰ませたときの応急処置、骨折のときの応急処置、非常食の試食、非常持ち出し袋について</p> <p><b>感想</b> 非常持ち出し袋に入れるものを指定された選択肢から4つ選ぶというテーマでシニア大学の方々と話し合いました。 「ラジオ、懐中電灯、新聞紙、スマホ、猫の砂、ウェットティッシュ、アルミシート、水、非常食など」から選びました。学生がラジオと懐中電灯を挙げたのに対して、シニア大学の方がスマホを提案したことが印象に残りました。 非常食の試食の時には、単品をただ食べるのではなく、組み合わせることで味のバリエーションができ、飽きがこないような工夫も発見しました。</p>
---	--



防災企画の様子

編集後記

CU+は紹介した以外にも様々なイベントに参加しています。その多くのイベントは地域の皆様も参加いただけます。私たちの活動を知っていただき、イベントを楽しんでいただきたいと思います。情報が伝わりやすくなるよう心掛けながら編集しました。

(山本)

発行元  

  
 愛知県春日井市松本町1200  
 中部大学 研究推進事務局 COC 推進課  
 E-mail: coc@office.chubu.ac.jp  
 TEL: 0568-51-1763 FAX: 0568-51-4659

## 舞台芸術からみえてきた一人と場所をつなぐ音楽

押沢台 作曲家 高山葉子さん

大学ではクラシックの作曲技法を学んできましたが、修士課程の頃から「視覚と聴覚」で感じられる音楽(ミュージック・シアター)へと作曲の方向性が変わりました。

2011年から磁器作家との共同プロジェクトとして開催してきた【器の音楽】は、まさにそんな音楽です。舞台上を「お茶席」と見立て、ひしゃくで湯を掬う動作や茶を点てる音など、茶道の所作を用いて音楽の世界観を表現しました。

また、2016年に中川運河の再生事業として、アートプロジェクト【航跡図-artery of sound-】を発表。(画像右) 舞台として選んだ水門は「あんな汚



い所でやるのはやめなさい」と地元の人に言われるほど。しかし、何度も地元の人と話をすることで、昔の良き時代の水門の記憶が蘇りました。多くの地元の人たちの協力により実現した公演当日は、水門前に作られた舞台上で行われるミュージック・シアターが、水門に映し出される映像、運河上の舟の光、風や水の音、行き交う電車の音や光と融合。いつもの見慣れた場所が美しい舞台となり、観ている人を圧巻しました。

この作品制作により「身近な場所の記憶を蘇らせることは尊いこと。場所」とは人と人をつなぐところ、人々の想いが重なったところなんです。自分の音楽表現でそれらを掘り起こせたことにとっても感動しました。まさに『芸術はものの見方を変える力を持っている』

です。自分のやりたい音楽は「これなんだ」と見えてきた作品となりました」と言います。

【押沢台の歌】の企画をまちの人に提案したのも、人と場所の記憶を、歌として残したいと思ったからです。

今回の作品の舞台は地元高蔵寺を希望しています。

高山 葉子 (たかやま ようこ)  
 2015年より押沢台在住。愛知県立芸術大学音楽学部音楽学科作曲専攻作曲コース卒業、同大学院博士後期課程修了、博士号(Doctor of Music)取得。現在は愛知県立芸術大学の非常勤講師。昨年度は小学3年生の息子が通う押沢台小学校のPTA本ボランティアの代表を務め、今年6月には、押沢台の住民が作成した詩に高山さんが作曲して作る【押沢台の歌】を発表予定。



## 高蔵寺を想い歌い続ける、シンガーソングライター

シンガーソングライター 山口大貴が  
いま熱い

音楽と生き方に深みが増してきた  
「ギターマン」田内洵也

生まれ育った高蔵寺への想いは熱く、県外のライブでも必ず高蔵寺の話題に触れるほど。以前は夏のきてみん祭にも参加。高蔵寺を出た今でも「高蔵寺ストリートライブは自分の原点ですから」と毎月、高蔵寺駅構内で歌っています。足を止めて聴いてくれる人や常連ファンとの会話もはずみます。「大貴くんの歌を聴くと元気をもらえます」と聴きながら一緒に口ずさむ、おっかけファン。

何処か懐かしさを感じつつも爽やかなメロディーと優しく温もりがある歌声、純粋で真っ直ぐな歌詞、そしてアグレッシブなライブパフォーマンスは、老若男女問わず多くのリスナーから支持を得ています。

「ころね」から『山口大貴』に改名してから初のアルバム【Start-Line】がついに全国リリース!「僕自身のスタートはここから。君自身のスタートも」。そんな想いが込められています。

【Start-Line】2018年1月全国リリース 全7曲  
 ジャケット写真の背景は高蔵寺駅構内!  
 Newアルバムは2019年夏季をリリース予定!



山口大貴(やまぐち だいき)のライブを全国展開中。また楽曲高蔵寺出身、現在は名古屋在住。だけでなく、グッズやイベント企画ギターを手にしたのは中学2年生。画等のプロデュースも手掛ける。ギターデュオ活動の後、一人で「ころね」として活動開始。19歳で「GeLaCouleur(ガラクルール)」を全国ツアーを達成。現在は東海地方を拠点とし、年間約200本以上

(公式サイト)https://www.yamaguchidaiki.com/

「音楽をやっていなかったら高蔵寺を出ていなかった」と言うくらいこの町が好き。昨年末は高蔵寺に帰り、10代の頃から応援してくれている春日井市内のカフェでライブ。その翌日は、ずっと住んでいた中央台の皆さんが企画してくれたライブで演奏しました。オリジナルソング、自分の音楽の原点となったビートルズ、尊敬し親交のある桑田佳祐の曲などを歌い盛り上がりしました。地元を飛び出して10年。高蔵寺への想いを曲にした【街の音】。その歌を聴きながら涙ぐむ人の姿もありました。

「今もこうして音楽の道でやっていけるのは、地元の皆さんが変わらず応援してくださるお陰だと三十路を前に強く思っています」と感謝の気持ちを語る洵也さん。今年は東部市民センターで公演があるかも!?

今、あらためて「ギター一本でやっていく!」と決意表明。これまでの弾き語りの集大成と言う最新アルバム【Guitarman】。昨年アイルランドに旅して現地の音楽に刺激され自身の音楽性も変わりました。その少し大人になった田内洵也を感じ取れる一枚です。公式ホームページにアップされているアイルランドの動画も必見!



【Guitarman】  
2018年発売



田内洵也(たうち じゅんや)を中心に全国、海外で年間300本高蔵寺出身、現在は東京在住。12前後のステージと、レコーディングの頃にビートルズを聴いて感、楽曲制作、提供などの活動を受け、当時住んでいたタイの行っている。昨年はサンマルシェバンコクにてストリートライブ 高蔵寺店のテーマソング【みんなを開始する。アコースティックギターのサンマルシェ】を作曲作曲した。ターの弾き語りスタイルで東京 た。

(公式サイト)http://tauchi-junya.com

>>記事に関するお問い合わせ・ご感想はこちら<<  
 〒487-0035 春日井市藤山台1-1  
 高蔵寺まなびと交流センター3階(こどもとまちのサポートセンター)  
 NPO法人 まちのエキスパネット  
 TEL/FAX 0568-37-2933